

荒木美知子先生の退職記念号によせて

龍谷大学社会学部学会会長 山 田 容

社会学部現代福祉学科特任教授の荒木美知子先生が、本年度をもってご退職となります。荒木先生は、2016年より特任教授として着任されましたが、それ以前より大学院の非常勤講師をお願いしており、長きにわたって社会学部の教育にご尽力いただきました。着任後は、現代福祉学科の教育の柱のひとつである特別支援学校教諭養成の重責を担っていただき、先生の薫陶を受けた多くの卒業生が、時代が求める福祉の視点を持った教員として巣立っていきました。

荒木先生は、発達分野の専門家として、保育、障害児なかでも自閉症スペクトラム児の療育において、さらに子育て支援や子どもの成長について研究を積み重ねられ、数々の業績を残されています。また近年は、東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故の自主避難者を対象とした聞き取り調査を継続して行われ、社会学部紀要においてもその成果を発表されています。

先生の優しい笑顔によって、接する人はみな温かい気持ちになりました。そして、研究テーマにも垣間見えるように、社会の中でもすれば排除され、忘れられがちな人たちへの深い思いもまた伝わります。痛みを抱える人に柔らかに、そして強く寄り添い続けようとする先生に支えられ、救われた学生も数多くいたことでしょう。

荒木先生がいてねいに取り組まれた教育、研究の足跡を学部、学科の財産としていきたいと考えております。コロナ禍の中で最終年を迎えられ、オンライン等の対応にご負担をおかけしたものと察しております。これまでのご貢献に心よりの感謝を申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍とご健康を願っております。